

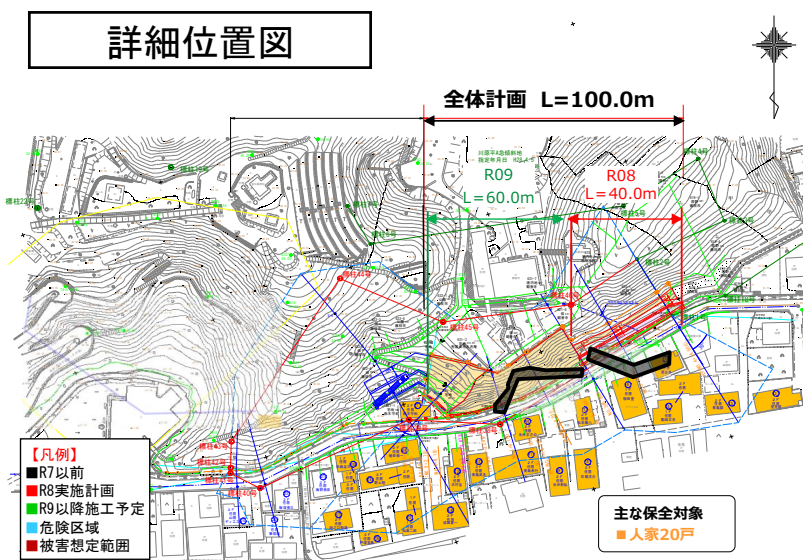
番号	27	令和8年度公共事業再評価調書				担当課名	砂防課																																
事業名	急傾斜地崩壊対策事業				事業主体	静岡県																																	
ふりがな	かわはらだいらびー				関係市町	藤枝市																																	
箇所名	川原平b																																						
事業採択年度	令和4年度		計画期間	令和4年度～令和11年度																																			
用地着手年度	令和7年度		工事着手年度	令和8年度																																			
再評価理由※	事業採択後5年経過																																						
全体事業費	百万円	投資状況 (百万円)	～R6年度	R7年度	R8年度見込	計																																	
	210		20	64	1	85																																	
事業概要	(1)事業目的 川原平b地区は、藤枝市市街地西部に位置し、保全対象に人家20戸を含む急傾斜地である。 当該地区の斜面は荒廃し、豪雨等によるがけ崩れの発生により甚大な被害が懸念されるため、急傾斜地崩壊防止施設を整備し、住民の生命を守るものである。 (2)事業内容 施工延長：100 m 重力式擁壁工：40 m 法枠工：60 m																																						
【視点1】	(1)事業を巡る社会経済情勢等の変化 近年、局地化、集中化した豪雨が頻発化し、甚大な土砂災害が多く発生しており、災害に強いまちづくりのための地震・風水害の対策へ高い期待が寄せられている。 藤枝市においても、事業開始後の令和4年度からこれまでに4件の土砂災害が発生している。 当該地区では、がけ崩れの発生により、人家及び市道等に被害が及ぶことが懸念されるため、急傾斜地崩壊対策施設を整備する必要がある。 (2)事業の投資効果 ○費用便益分析結果 (令和8年度時点) <table><tr><td>B/C (i=4%)</td><td>参考:B/C (i=2%)</td><td>参考:B/C (i=1%)</td><td>EIRR</td></tr><tr><td>18.4</td><td>30.2</td><td>40.1</td><td>29.4%</td></tr></table> ・総便益 (B) 31.99 億円 (平均便益：1.82億円) ・総費用 (C) 1.74 億円 (建設費：1.69億円、維持管理費：0.05億円、用地残存価値：0.03億円) ○見込まれる効果 (定性的な効果) ・がけ崩れによる甚大な被害の防止 (3)事業の進捗状況 (令和8年度見込み) <table><tr><th colspan="2">区 分</th><th>進捗率</th><th colspan="2">内 訳</th></tr><tr><td colspan="2">事業費</td><td>40.5%</td><td colspan="2">(85 百万円 / 210 百万円)</td></tr><tr><td rowspan="2">事業量</td><td>重力式擁壁工</td><td>100.0%</td><td colspan="2">(40 m / 40 m)</td></tr><tr><td>法枠工</td><td>0.0%</td><td colspan="2">(0 m / 60 m)</td></tr><tr><td colspan="2">用地取得</td><td>100.0%</td><td colspan="2">(1,105 m² / 1,105 m²)</td></tr></table> 評価 継続が妥当							B/C (i=4%)	参考:B/C (i=2%)	参考:B/C (i=1%)	EIRR	18.4	30.2	40.1	29.4%	区 分		進捗率	内 訳		事業費		40.5%	(85 百万円 / 210 百万円)		事業量	重力式擁壁工	100.0%	(40 m / 40 m)		法枠工	0.0%	(0 m / 60 m)		用地取得		100.0%	(1,105 m ² / 1,105 m ²)	
B/C (i=4%)	参考:B/C (i=2%)	参考:B/C (i=1%)	EIRR																																				
18.4	30.2	40.1	29.4%																																				
区 分		進捗率	内 訳																																				
事業費		40.5%	(85 百万円 / 210 百万円)																																				
事業量	重力式擁壁工	100.0%	(40 m / 40 m)																																				
	法枠工	0.0%	(0 m / 60 m)																																				
用地取得		100.0%	(1,105 m ² / 1,105 m ²)																																				
【視点2】	今後の事業の進捗の見込み 用地取得は令和8年度に完了する見込みで、借地などの地元調整は円滑に行われていることから、工事を計画的に推進し、令和11年度の完成が見込まれる 評価 継続が妥当																																						
【視点3】	新たなコスト削減・代替案立案等の可能性 今後、工事を進めるうえで、現場発生土を工事間流用する有効利用等の検討を行い、コスト削減に努める。																																						
対応方針(案)	(1)対応方針(案) 本事業を【 継続 】する。 (2)理由 本事業は、急傾斜地の崩壊による被害を未然に防止するものである。近年、県内でも甚大な土砂災害が発生しており、地元の期待も大きい。さらに、費用対効果も見込まれ、今後の事業進捗が見込まれることから、事業を継続する。																																						

1. 事業箇所位置図



2. 事業概要

詳細位置図



事業目的

川原平b地区は、藤枝市市街地西部に位置し保全対象に人家20戸を含む急傾斜地である。当該地区の斜面は荒廃し、豪雨等によるがけ崩れの発生により甚大な被害が懸念されるため、急傾斜地崩壊対策施設を整備し、住民の生命を守るものである。

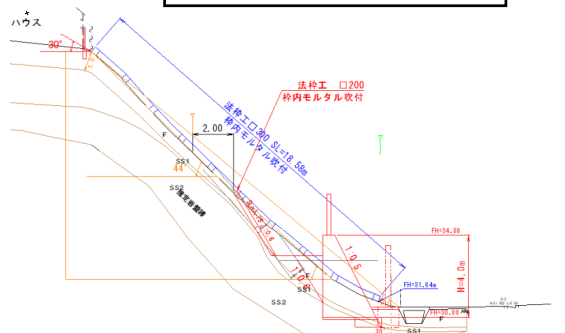
事業内容

箇所名：川原平 b（藤枝市瀬古） 事業費：210百万円 計画期間：令和4～11年度 全体延長：100.0m 事業内容：重力式擁壁工 延長40.0m 法枠工 延長60.0m
--

標準横断面図



整備予定箇所



3. 事業概要

前回からの変更点・理由

区 分	前回(R4)	今回(R8)	主な変更理由
①計画期間	R4～R10	R4～R11 (+1年)	・電柱の移転に時間を要したため、完了年度を延伸した。
②全体事業費	112百万円	210百万円 (+98)	・残土処分先の変更 ・労務単価及び資材単価の上昇

4. 事業の投資効果（費用便益比）

事業の投資効果（費用対効果の検証）

総便益（B）

総便益 31.99億円

- ☐ 直接被害
 - ・家屋被害、道路被害、人的被害
- ☐ 間接被害
 - ・精神的被害

総費用（C）

総費用 1.74億円

- ・建設費
- ・維持管理費



費用対効果(B/C):18.4 経済的内部収益率(EIRR):29.4%

前回の費用対効果(B/C):11.4

・「砂防事業の費用便益分析マニュアル」の改定に伴い、人的被害額の精神的損害額が2.26億円/人⇒6.01億円/人に上げられたため

5. 今後の事業の進捗の見込み

●事業推進のための取組

- ・工事の停滞、進捗遅延を回避するために、広範囲かつより密な地元調整に努める。
 - ・建設発生土の有効利用を検討し、事業費の縮減に努める。
-